

# 回覧、ほうせん

太田市立宝泉中学校  
学校通信 第17号  
発行責任者 添田 良之

## 立派に卒業していきました

3月12日金曜日に、太田市立宝泉中学校第74回卒業式が挙行されました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、地域のご来賓の方々の参列はご遠慮いただきました。卒業生とその保護者、教育委員会関係者、PTA会長はじめPTA本部役員の皆様、在校生からは生徒会本部役員の4名、そして教職員だけの参加で行われました。

健康面、安全面を考慮し、せつかくの晴れの舞台にもかかわらず、規模を縮小しての開催となったことは、卒業生に対しいへん申し訳ないことでありますし、つらいことでもあります。そのような状況の中でも、卒業生たちは立派な態度で式に臨んでくれました。証書授与は各クラスの代表者1名だけでしたが、担任から呼名されたときの一人一人の返事は、実にしっかりしたものでした。義務教育を終えて、世の中へ歩み出そうという卒業生の決意が力強い返事となっていたのでしょう。155名の卒業生の前途に期待して送り出すことができました。

### 答辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、春の温かさを感じる季節となりました。本日は、私たちのために卒業式を挙行してくださり、ありがとうございます。このような状況の中ですが、無事卒業できることを本当に嬉しく思います。

3年前の春、私たちは中学校生活に胸を躍らせながらも、新たな場所で過ごしていくことへの不安を感じて入学しました。

1年生の時、不安が大きかったのは林間学校です。2泊3日の共同生活、特にカッターは本当に進むのか不安でいっぱいでした。実際のカッターもはじめは息が合わず、あまり前に進みませんでした。しかし、クラスのみんなで協力して声を掛け合いカッターが進んだとき、とても嬉しかったのを覚えています。

みんなで協力することや助け合うことの大切さを学びました。

2年生の東京校外学習では、自分たちで計画を立てました。計画を立てる中で、お互いの意見を尊重し合うことの大切さを学びました。職場体験学習では、やりがいを感じ、たいへんなことを知る良い経験になりました。感謝されたときや、うまくできたときは本当に嬉しかったです。しかし、実際に仕事してみると、想像以上にたいへんでした。そのときに、父や母も私たち家族のために働いているということに気づきました。また、ありがたさと共に、誰かのために一生懸命努力できる人になりたいと思いました。

3年生では、新型コロナウイルス感染拡大による休校期間がありました。今までは当たり前だったことが、当たり前ではなくなっていました。部活動や行事が思うようにできず、心残りがあります。そんな中でも、校長先生をはじめ多くの先生方のおかげで、様々な代替行事を行うことができました。例年とは異なる形で思い出を作ることができました。

3年間、様々な変化があった中で、一つかわらなかったことがあります。そ



れは、いずみ祭や体育祭の行事に対する姿勢です。クラスや学年を超えて応援し合っていた姿、素晴らしい合唱を作り上げるために仲間と協力していた姿、本当に1人1人が輝いていたのが印象に残っています。行事を通して、賞だけにこだわるのではなく、賞以上の価値、クラスの絆や思い出を得ることができました。

これは、私たちが先輩たちから受け継いできたものでもあります。常に一生懸命、全力で取り組む姿に憧れ「私たちもそうになりたい。」とっていました。最初はただ必死についていっただけだった私たちにも後輩ができました。先輩たちのような見本になれたか心配です。しかし、受け継いできたものを少しでも残そうと思い、努力し続けることができました。

在校生の皆さん、次は皆さんの番です。これから入学してくる新入生を温かく迎えてあげてください。そして、皆さんの手で新入生の不安を希望に変えてあげてください。生徒会本部役員の皆さん、皆さんがこの宝泉中学校のリーダーです。今よりもっと素晴らしい学校にしていってください。



先生方、普段の授業だけでなく、困ったことやつらいことがあると、親身になって相談に乗ってくださいました。また、毎日、朝と帰りに私たちを見守ってくださいました。ありがとうございました。

お父さん、お母さん、今まで育ててくれて、支えてくれてありがとうございました。いつも応援してくれたり、一緒に喜んでくれたり、本当に心の支えでした。義務教育は終わりますが、これからもよろしく願

いします。

この3年間、一緒に過ごした仲間、後輩、家族、先生方、地域の方々、私たちは本当に多くの人に支えてもらっているということを実感しました。みなさんのおかげで、無事中学校を卒業することができます。本当にありがとうございました。

私たち155名は卒業し、これから先、別々の道に進みます。不安になることもあるかもしれませんが、私たちには、3年間で作った思い出、3年間共に過ごしてきたかけがえのない仲間がいます。時には大切な思い出や大切な仲間を思い出し、新たな場所で目標に向かって頑張ります。

最後になりましたが、宝泉中学校の発展をお祈りし、答辞といたします。

令和3年3月12日

太田市立宝泉中学校  
第74回卒業生代表

## 大切に使用させていただきます

卒業記念品として、体育祭のときに活用できる立派なテント一張をいただきました。いつまでも大切に使用させていただきたいと思っております。

今年度は規模を縮小しましたが、令和3年度は、体育祭が盛大に開催できるように、そして、保護者の皆様にもお子さんの雄姿をご覧いただけるようにしたいと思います。そのためにも、油断することなく、新型コロナ対策をしっかりと継続していきます。在校生には、テントを眺め、卒業生を思い出し、宝泉中学校の伝統を引き継いでほしいと思っております。

